

カナダの 林産業は今

2011年3月

生物多様性に
バイヤーの関心

中国のNo.1
サプライヤーに

日本市場の
動向を調査

ご存知でしたか

国連は2011年を国際森林年に指定し、各国政府をはじめ国連機関、主要NGO、民間その他に向け、あらゆるレベルで森林に対する認識を高め、現在と未来の世代のために全ての種類の森林の管理と保全、さらには持続可能な開発を強化していこうと呼びかけています。

カナダは革新的な森林施業と野生生物の保全、資源の効率活用における世界のリーダーであり、たゆみのない向上を誓っています。厳しい法規制と取締り、そして世界の第三者認証林面積が、私たちの林産品が合法的かつ持続可能な森林から生まれていることを保証しています。

国際森林年

世界の森林の10%、すなわち4億ha以上の森を有すカナダ。国際森林年の2011年は、持続可能な森林に対する私たちの誓いを祝う年でもあると考えています。

森林減少は実質ゼロ。建国以来変わらぬ森林面積比率を誇り、保護林や第三者認証林の面積では世界一、森林法規制の厳しさでも有数です。カナダの林産業が環境管理面の第一人者を自負するのはこのためです。

資源に恵まれているうえ、伐採や加工に卓越した技術の開発を続け、環境との両立を実現しているカナダは、世界中の羨望を集めつつある」とカナダ林産品協会のアプリム・ラザール会長兼CEO。「この事実は2011年のみならず、今後数十年に渡り業界にとっての力強い追い風となるでしょう」

カナダ林産業界から、日本の友人と同朋の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。





ご存知でしたか

カナダの森林には、絶滅危惧種を含め、国内に生息する推定 **14万種もの植物**や動物、微生物の3分の2が生息しています。危険に晒されている森林関連種の **健全な個体数を維持する**ことが、カナダにおける森林計画の重要な目的のひとつです。

生物多様性年の残したものの

カナダは2010年の国際生物多様性年に得た勢いを、2011年の国際森林年の計画と準備に活かしています。

カナダのジョン・ベアード環境相は、国際生物多様性年によって、国全体で国民が地元の環境保全と保持に向けて行動を起こし、取り組むようになったと述べています。

「国際生物多様性年は成功でしたが、2010年の終わりは地球の生命の豊かさと多様性に対する懸念の終わりではない」とベアード大臣。「連邦政府として大地と野生生物の保全のために強力な措置を講じていく。国際生物多様性年の成功を基盤として、州や市町村、またその他の国内外のパートナーと協力しながら前進し続けていきます」

「安全な協議の場」

Canadian Geographic誌の2011年1月号は、「War for the Woods (森をめぐる戦い)」と題した特集記事で、カナダ寒帯林協定を取り上げています。記事では同協定により安全な協議の場が作られた、というWWFカナダのローン・ジョンソン氏の言葉が引用されています。「政策を決定するときには、大議論になって緊張が高くなるほど、逆に思慮の浅いものになりがちだ」「この協定で、議論のための議論も対立姿勢も広告喧伝もずっと収まるだろう」。同氏は同協定実施に当たり、林産業界と環境運動者らによって設立された事務局のエグゼクティブ・ディレクター2名のうちの一人に任命されています。記事は www.canadiangeographic.ca/magazine/jf11/boreal_forest_agreement.asp に掲載されています。

カナダの林産業は今・2011年3月

生物多様性にバイヤーの関心

カナダの林産業関連機関が東京で開いたワークショップで、日本のバイヤーがカナダの森林における生物多様性管理に、高い関心を寄せていることが明らかになりました。

カナダウッドグループ日本事務所の一員であるカナダ林産業審議会のショーン・ローラ日本代表は、ワークショップは毎年、バイヤーの関心に合わせたテーマで開催されていると説明します。「名古屋で先日COP10が開催されたことで、関係者の中で生物多様性に対する認識が高まった」とローラ氏。「生物多様性の保全はカナダの森林管理の大きな目的のひとつ。このため今年は連邦、州、そして林業界から講演者を招き、それぞれの立場から生物多様性を語っていただきました」

同氏はさらに「カナダには語るに足る実績がある」と加えます。「現にワークショップ後、参加者の大多数がカナダの森林管理実務の持続可能性は信用でき、カナダの製材品や紙パルプなら気持ち良く購入することができると答えています」

同ワークショップはジャパンホームショーの開催に合わせ、11月18日にカナダウッドグループ日本事務所とカナダ大使館、カナダ林産品協会の共催で行われました。90人が参加し、ワークショップ後のアンケートの回答者は全員が、講演を通じてカナダの生物多様性管理について役立つ知識を得た、また自分の仕事にも関連性が高く役立つものであったと答えています。

講演者の一人であるカナダ森林局北部林業センター所長のティム・シェルダン氏はカナダ国家森林戦略の概要を説明し、カナダにおける森林管理は再生可能な資源の持続可能な管理であり、国民と森林両方の長期的健康と充足を確保するため、様々な価値と利益を考慮したものであると語りました。

BC州主席森林官のジム・スネッツィンガー氏は、BC州特有の生物/生態系多様性について述べ、それを維持するための法規制や土地利用計画、保護地、管理実務その他諸々がいかに連携しているかを説明しました。

キャンフォー・パルプ・リミテッド・パートナーシップ社(キャンフォーパルプ&ペーパー)持続可能事業ディレクターのマイケル・ブラッドレー氏は生産者の視点から生物多様性の保護を語りました。特に紹介されたBC州のグレートベア・レインフォレストは、沿岸林産業と主要環境団体が、共通の解決策を目指して歩み寄った例で、これが昨春締結されたカナダ寒帯林協定につながるようになったのです。

中国のNo.1 サプライヤに

カナダは2010年第1四半期にロシアを凌ぎ、対中国最大の針葉樹輸出国となりました。Conference Board of Canada [非営利民間調査機関]は2010年8月のカナダ林産業見通しにおいて、対中輸出は2000年から2010年の間に33倍となったと報告しています。

ブリティッシュ・コロンビア州も2010年9月時点で、州林産品輸出価額の40.2%は中国と日本向けで、米国向けは42.5%と報告。通年では47.5%が米国向け、日中向けが33.8%でした。2005年時点では対米輸出が67%を超えていたのに対し、対日中は17%にすぎませんでした。

BC州からの対中輸出は、出荷されている製材品の質においても大きく向上しています。2-3年前まではエコノミーやユーティリティ材が主流で、構造材等級は一割のみにとどまっていたのに対し、現在は3分の1が構造材です。

「2010年の輸出実績が8月時点で3億4200万ドルに達し、BC州内の10以上の製材工場と1000人もの従業員が中国向け木材の生産に投入されているのですから、BC州が中国で大成功していることに疑いの余地はありません」と語るのはカナダ太平洋沿岸林産物協会のリック・ジェフェリー会長。「新築着工数のうち10%(80万戸)だけでも木造になれば、中国には米国の新規着工数全体にほぼ匹敵する需要が生まれることになります」

気候変動 – カナダの取り組み

カナダは持続可能な森林管理の世界のリーダーとして、森林と森林管理が気候変動の取り組みにおいて重要な役割を担っていることを十分承知しています。

昨年10月名古屋のREDD+ (森林減少・劣化に由来する排出の削減)閣僚会議後に発表された声明で、カナダのジム・プレントイス環境相(当時)は「地球上がREDDという大きな目標に向けて行動を起こすための基盤として、カナダから世界銀行森林炭素パートナーシップ基金へ4000万ドルを拠出することは不可欠」と述べています。

「熱帯圏における森林の減少と劣化は、全世界の人間由来の温室効果ガス排出量の17%を占める。これを削減することが、短期的に世界の温室効果ガス排出量に最も大きく、最も速い効果をもたらす可能性があります」

カナダの多様な林産業

カナダの多様な林産業をより良く知っていただくための「カナダの森林は今」。アジア市場に展開する企業の担当者もご紹介しています。

20年近くも前に、要求の厳しい日本市場に特化したパルプ等級を開発したMillar Western Forest Products社。だからこそパルプ会社として成長し、他のアジア市場への門戸も開かれたのだと、クレイグ・アームストロング社長兼CEOは考えています。

アルバータ州を拠点とするMillar Westernは1980年代の終わりから、広葉樹材、針葉樹材両方の漂白ケミサーモメカニカルパルプ(BCTMP)生産技術の向上に努めてきました。高収率パルプとしても知られる製品です。早い時期から要求の厳しい製紙業者と協働してきたからこそ、BCTMPの質と用途の広さに対する現在の定評が確立されたのです。



アルバータ州北西部に位置するMillar Western社のパルプ/製材工場。環境面でも技術面でも先進的かつ柔軟性に富み、エンドユーザ特有のニーズに応じたパルプ/木材を生産している

に輸出され、様々な紙製品に加工されています。「これからも工場の柔軟性を新たな方法で活用し、お客さまのニーズに応え続けます」

Millar Westernは大企業ではないからこそ、お客さまと長期的関係を築いて育てることが大事なのであり、それは製材事業についても変わらない、と同氏は言葉を添えます。同社製材品の大半は北米内で販売されていますが、伸びつつあるアジアの需要にも注目しています。既に日本市場向け格付製材の生産に入っており、さらなる活路を求めて、自らも加盟する西部林産品メーカー5社によるマーケティング・コンソーシウム「Interex」との協同作業が進行中です。

他の大多数の林業会社と同様に、Millar Western (www.millarwestern.com) もまた原木のほとんどを公有地から得ており、水質、野生生物生息地その他の価値を保護するための手段を講じて、持続可能な管理を行っています。その施業はPEFCの認定する持続可能な森林イニシアチブ(SFI)認証を受けています。

「先進の生産技術と環境管理技術を取り入れたことで、計り知れないほどの柔軟性がもたらされました」とアームストロング氏。「だからこそ日本市場の厳格な基準を満たすことができたとともに、高品質の印刷/筆記/板紙用紙を生産する他のアジアメーカーにBCTMPを大量輸出する初の企業となれたのです」

今日ではMillar Western製パルプの大半はアジア

日本市場の動向を調査

カナダ林産品協会(FPAC)の委託によりプライスウォーターハウスクーパースによる調査が実施され、日本の政治動向を検討し、林産品/環境関連製品のマーケティングと日加貿易に関する主な利害関係者の同定が行われました。

不法伐採、政府によるグリーン調達、森林認証、貿易政策、税制障壁、バイオエネルギー、環境/気候変動、グリーン建築、品質要件、貿易政策など、関連する問題も対象としています。

報告はカナダ林産品協会が日本市場の求める環境要件に応える準備があることを明らかにしています。カナダウッド日本事務所はこの調査結果を用いて市場広報計画を開発しており、主な政策イニシアチブや環境貢献におけるカナダの姿勢を、政界や業界の有力者に伝えていくことになっています。FPACもカナダウッドグループの一員です。

日本市場調査報告をご希望の場合は cmultimore@fpac.ca にて、Cheryl Multimoreまでご連絡ください。

短信

ニューブランズウィック州 新規市場を開拓

ニューブランズウィック州は現在、日本と欧州における林産品の新規市場開拓を目指しています。昨秋の森林サミット後、ポール・ロビショール州経済開発相は、州政府は市場開拓だけでなく、企業が国際的な林産品ニーズに対応するための技術の取得も支援していくと話しています。

中国で木製トラス製造工場がオープン

河北省はこのほど、木製トラス屋根組の国内需要に対応するため、廊坊市に製造工場を新設しました。屋根トラスの製造におけるポイントのひとつは組立工程の最後に用いられる大型工作機械であるローラープレスです。このためFII中国事務所から3万ドルのローラープレスを提供し、カナダウッドグループからはプレス操作の技術指導が行われることになっています。同工場は構造材を用いて年間400棟相当のトラス生産能力を有します。

木の利点をアピール

1階は小売店舗、2階と3階は小学校という木造3階建が、カナダの木造技術が中国に受け入れられつつあることを象徴しています。これは成都のMarket Streetと呼ばれる800㎡規模のプロジェクトで、地元の開発業者や経済界に、ハイブリッドの木造枠組建

4ページに続く

築が構造的に堅牢で、コンクリートやレンガ、鉄骨造とのコスト競争力もあり、エネルギー効率が高いことを実証することを目的としています。カナダとBC州が震災復興の支援として2008年に発表した文川復興プログラムの最終段階の事業であり、完工は2011年4月の予定です。

木造建築の教育需要に対応

中国:カナダウッドカレッジが、北京京北職業技術学院(Beijing Jingbei Vocational College)でコースを開講しました。同カレッジはカナダウッドグループの経営によるもので、上海で立ち上げられ、建設業に携わる専門職に、近代的な木造枠組工法に関する指導と訓練を提供しています。ビルダーと設計者コースからは毎年約270人が卒業しており、現場研修や1日設計セミナーを含めると、年間2000人以上が受講しています。



木造建築を学ぶ韓国留学生

韓国:カナダウッド韓国事務所の主催による2010-2011年度木造建築訓練プログラムには、建築、住宅環境、林業などの分野から合計340人の学生が参加。各コースは1週間で、建材としての木材の魅力と環境上の利点の周知を図るものです。韓国全国の大学や専門学校から集った学生は、講習で得た木造枠組工法の知識を活かして遊具としての家を作り、地元の保育施設に寄付しました。

近刊

カナダ天然資源省が**2010年版林業統計(2010 State of the Forest)**を発表。カナダの森林資源や林産業の現状とともに、専門家による分析を掲載しています。
<http://canadaforests.nrcan.gc.ca/rpt>

BC州はブリティッシュ・コロンビア州森林現況報告(The State of British Columbia's Forests)を発行。持続可能な森林管理指標に関する最新情報と分析を紹介しています。

FPIInnovationsは、カナダ林産品協会とカナダ森林局とのパートナーシップを得て、**カナダ林産業の新たな顔: 起こりつつあるバイオ革命(The New Face of the Canadian Forest Industry: The Emerging Bio-revolution)**と題した12ページの報告書を発表しました。台頭しつつあるバイオエネルギー、バイオケミカル、バイオ製品の市場可能性を検証するとともに、本分野における価値管理とパートナーシップ構築のための新たなアプローチを探るBio-pathways事業の第2段階について概要をまとめたものです。

www.fpinnovations.ca/pdfs/2011_b_2011_in_house_en.pdf

FPIInnovationsは、**カナダ木材市場統計(Wood Market Statistics in Canada)**の2010年度版を発表(紙パルプ市場を含む)。森林蓄積の増加、原木供給、主要林産品の生産や輸出量など、カナダの森林と林産業に関する統計を提供しています。カナダ版をもとにBC、アルバータ、サスカチュワン版が作成されており、他州もこれに続いています。www.forintek.ca/public/pdf/Wood%20Market%20Statistics/2010%20%E2%80%9320WMS%20CAN.pdf

カナダウッド韓国事務所は、FPIInnovationsと協同して「**Wood Wall**」「**Interior Wood Wall (木造内壁)**」「**Exterior Wood Wall(木造外壁)**」と題した技術情報冊子3種を刊行。「Wood Wall」は、韓国市場で枠組工法の非耐力壁やはめ込み壁のブランドネームとして期待されています。これらの冊子や他の技術資料はwww.canadawood.or.krで入手可能。

カナダウッドWFC Service Centreの登録会員であることが条件です。BC州の森林革新投資公社(FII)は、常に最新の情報や様々な話題を提供しています。2010年冬季オリンピック/パラリンピックにおける木材の活躍もそのひとつ。www.naturallywood.com/Resources.aspxの「Products」欄をご参照ください。

カナダの林産業は今

「カナダの林産業は今」は、カナダの林産業を幅広く取り上げており、アジア市場で活躍する企業の皆さまからのご意見を募っています。発行は年4回で、建築や紙製品の原材料をカナダから調達しようとお考えのアジアのバイヤーや施工業者の皆さまに森林、施業、製品に関する情報をお届けする情報誌です。ご意見やご要望はOttawa@fpac.caまでお寄せください。

詳細はカナダウッドのウェブサイトwww.canadawood.org、または最寄のカナダウッド事務所までお問い合わせください。

中国 上海事務所: 86-21-5030-1126 北京事務所: 86-10-59251255

日本 東京事務所: 81-3-5401-0531 **韓国** ソウル事務所: 82-2-3445-3835/4

カナダ林産業に関する詳細は下記をご覧ください。

カナダ林産品協会(www.fpac.ca)はカナダの木製品や紙パルプ製品の大手生産業者が加盟しており、ウェブサイトでは持続可能な林産品調達方針を策定する上で参考となる「カナダの持続可能な林産品 - お客様ガイド」をはじめ、豊富な情報を提供しています。

林産品バイヤーの皆さまの意識は高まる一方です。カナダ林産業界は次の5大原則の遵守を誓っています。



カナダの林産業は今 2011年3月

林産品バイヤーの皆さまの意識はますます高まっています。カナダ林産業界は次の5大原則の遵守を誓っています。

1. 違法伐採に反対
2. 速やかな森林再生
3. リデュース/リカバリ/リサイクルの実践
4. CO2削減と温暖化の緩和
5. 第三者機関の厳しい目を歓迎